



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月6日

上場会社名 極東開発工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7226 URL http://www.kyokuto.com/  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 布原 達也  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部総務部長 (氏名) 吉田 豊 TEL 0798-66-1000  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	24,104	△5.6	1,065	12.7	1,032	△2.5	1,276	50.7
2020年3月期第1四半期	25,536	6.0	946	△23.1	1,059	△31.2	846	△21.6

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,964百万円 (237.6%) 2020年3月期第1四半期 581百万円 (△14.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	32.12	—
2020年3月期第1四半期	21.31	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	133,395	93,736	70.0
2020年3月期	136,579	92,566	67.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 93,423百万円 2020年3月期 92,181百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	18.00	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	106,500	△11.4	5,400	△36.4	5,500	△36.6	4,400	△27.5	110.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	42,737,668株	2020年3月期	42,737,668株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	3,011,295株	2020年3月期	3,011,295株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	39,726,373株	2020年3月期1Q	39,726,785株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、今後の様々な要因により実際の業績が予想値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大に係る緊急事態宣言の発出等によって社会経済活動が大幅に制限され、景気は急速に停滞しながら推移しました。また緊急事態宣言解除後も第二波への懸念など不安要素が多く、依然として予断を許さない厳しい状況が続いています。

このような状況下、当社グループでは新型コロナウイルス感染症拡大を防止する観点から、お客様、地域の皆様、グループ従業員の安全を最優先とし、グループ各拠点において在宅勤務、時差出勤、時短勤務等を積極的に導入したほか、国内外出張を原則禁止の上で、グループ内はテレビ会議システム、社外はWEB会議を活用するなどの各種施策を実施しました。

なお、生産・サービス拠点におきましては、政府、厚生労働省及び管轄保健所からの指導に基づき、感染拡大予防対策を実施した上で事業継続を図りました。

また同時に、新中期経営計画（3カ年計画）2019-21 ～To the Growth Cycle～（2019年4月1日～2022年3月31日）の2年目として、業績の確保と各施策の実行に努めました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は前年同期と比較して、売上高は1,431百万円（5.6%）減少して24,104百万円となりました。営業利益は119百万円（12.7%）増加して1,065百万円、経常利益は26百万円（2.5%）減少して1,032百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は税負担の軽減により429百万円（50.7%）増加して1,276百万円となりました。

次に連結ベースでのセグメント別の概要を前年同期と比較してご説明申し上げます。

## ①特装車事業

国内需要は、新型コロナウイルス感染症の影響によりお客様の購入計画の延期やキャンセルなどが一部で見られたものの、全体として引き続き底堅く推移しました。当社ではリモートを活用した営業活動も併用しながら受注の確保を図りました。

また、2020年5月には積載量と走行安定性を大幅に向上させた新型「土砂ダンプトレーラ（リンク式・GVW36t）」を、2020年6月には吸水作業を自動化した新型「スーパー散水車」をそれぞれ発売し、製品ラインナップを強化しました。

当セグメントの売上高は1,044百万円（4.8%）減少して20,838百万円となりました。営業利益は265百万円（36.3%）増加して995百万円となりました。

## ②環境事業

プラント建設では新規物件の受注活動を進め、2020年5月に北海道札幌市様が発注する駒岡清掃工場更新事業の建設工事及び運営事業を、2020年6月に秋田県の鹿角広域行政組合様より不燃ごみリサイクルセンターの建設工事をそれぞれ受注いたしました。また受注済物件の建設工事と併せ、引き続きメンテナンス・運転受託等のストックビジネスにも注力しました。

バイオガスプラント事業は、前連結会計年度にバイオディーゼル岡山株式会社様より受注した、岡山市におけるバイオマス発電施設の建設工事に向けた準備を進めました。

当セグメントの売上高は291百万円（13.3%）減少して1,895百万円となりました。営業利益は98百万円（74.0%）増加して232百万円となりました。

## ③不動産賃貸等事業

立体駐車装置は引き続きリニューアル及びメンテナンスのストックビジネスに注力したほか、新規物件についても積極的な受注活動を行いました。コインパーキングは新型コロナウイルス感染症拡大や緊急事態宣言発出に伴う外出自粛の影響により、各事業地において稼働率が低下する状況となったものの、採算性を重視した事業地展開を継続しました。

当セグメントの売上高は106百万円（6.7%）減少して1,496百万円となりました。営業利益は158百万円（56.9%）減少して119百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して、総資産は3,183百万円(2.3%)減少して133,395百万円となりました。

流動資産につきましては、受取手形及び売掛金の減少等により3,460百万円(4.2%)減少して79,292百万円となりました。

固定資産につきましては、投資有価証券の時価の上昇等により277百万円(0.5%)増加して54,103百万円となりました。

負債につきましては、流動負債は未払費用の減少等により3,817百万円(9.9%)減少して34,797百万円、固定負債は繰延税金負債の減少等により535百万円(9.9%)減少して4,861百万円となりました。

純資産につきましては、その他有価証券評価差額金の増加等により1,169百万円(1.3%)増加して93,736百万円となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間末現在の自己資本比率は70.0%(前連結会計年度末67.5%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月26日の2020年3月期決算公表時に未定としていました2021年3月期の通期業績予想及び配当予想を下記の通りお知らせします。

● 業績予想について

2021年3月期通期連結業績予想値(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回発表予想 (B)	106,500	5,400	5,500	4,400	110.76
増減額 (B-A)	—	—	—	—	
増減率 (%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	120,173	8,493	8,675	6,073	152.87

(理由)

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大に係る影響により合理的な算定が困難であったため未定としていましたが、当該影響を精査の上、現時点で入手可能な情報や予測等を踏まえ、上記のとおり公表します。

なお、新型コロナウイルス感染症の当第1四半期連結累計期間における当社グループへの影響につきましては、「(1) 経営成績に関する説明」に記載の通りですが、上記業績予想につきましては、直下における感染者の再度の増加を鑑み、当第2四半期以降も本件影響が一定程度継続することを前提としています。

また、今後第二波・第三波として感染者がさらに増加し、再度社会経済活動の大幅な制限が行われたことによる部品調達やシャシ搬入の遅延など、当社グループの生産及びサービス活動に大きな影響が見込まれる場合は、その影響度合いに応じ都度見直しを行います。

● 配当予想について

2021年3月期通期配当予想

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想	—	—	—	—	—
今回発表予想	—	18.00	—	18.00	36.00
当期実績	—	—	—		
前期実績 (2020年3月期)	—	20.00	—	20.00	40.00

(理由)

当社の利益配分に関する基本方針は、株主還元を経営の最重要政策の一つと考え、業績の向上と財務体質の強化を図りながら、将来の事業展開及び経済情勢等を勘案し、また業績の動向などを総合的に考慮した上で決定することとしています。

未定としていました2021年3月期の配当につきましては、上記のとおり2021年3月期の通期業績予想の公表に伴い、連結配当性向等を鑑み、年間配当金を1株当たり36円（内、中間配当金18円）とする予定です。

※本資料に記載されている業績及び配当見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、今後の様々な要因により実際の業績及び配当が予想値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,804	8,304
受取手形及び売掛金	35,905	27,931
電子記録債権	6,814	6,727
有価証券	12,889	14,386
商品及び製品	1,368	2,376
仕掛品	5,797	7,292
原材料及び貯蔵品	9,483	10,159
前払費用	399	443
その他	2,352	1,803
貸倒引当金	△61	△134
流動資産合計	82,753	79,292
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,352	11,210
機械装置及び運搬具(純額)	5,217	5,051
土地	20,360	20,344
建設仮勘定	1,011	1,370
その他(純額)	1,104	1,088
有形固定資産合計	39,046	39,066
無形固定資産		
その他	700	688
無形固定資産合計	700	688
投資その他の資産		
投資有価証券	11,684	12,453
長期前払費用	189	170
繰延税金資産	259	257
その他	2,653	2,576
貸倒引当金	△708	△1,108
投資その他の資産合計	14,079	14,349
固定資産合計	53,826	54,103
資産合計	136,579	133,395

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,993	15,307
電子記録債務	10,629	9,776
短期借入金	1,463	1,486
1年内償還予定の社債	—	50
1年内返済予定の長期借入金	636	633
未払法人税等	1,570	310
未払消費税等	1,435	496
未払費用	4,568	3,155
引当金	1,043	2,126
その他	1,274	1,455
流動負債合計	38,615	34,797
固定負債		
社債	50	—
長期借入金	55	49
長期預り保証金	1,861	1,798
退職給付に係る負債	967	900
引当金	168	131
繰延税金負債	1,600	1,281
その他	694	699
固定負債合計	5,397	4,861
負債合計	44,013	39,659
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,899	11,899
資本剰余金	11,679	11,679
利益剰余金	68,732	69,214
自己株式	△2,153	△2,153
株主資本合計	90,158	90,639
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,553	3,311
為替換算調整勘定	127	95
退職給付に係る調整累計額	△657	△623
その他の包括利益累計額合計	2,023	2,783
非支配株主持分	384	312
純資産合計	92,566	93,736
負債純資産合計	136,579	133,395



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	25,536	24,104
売上原価	21,133	19,751
売上総利益	4,402	4,353
販売費及び一般管理費	3,456	3,287
営業利益	946	1,065
営業外収益		
受取利息及び配当金	219	479
雑収入	18	18
営業外収益合計	238	497
営業外費用		
支払利息	20	7
持分法による投資損失	59	32
為替差損	25	47
貸倒引当金繰入額	0	400
雑支出	19	42
営業外費用合計	125	530
経常利益	1,059	1,032
特別利益		
固定資産売却益	1	1
特別利益合計	1	1
特別損失		
固定資産処分損	37	5
災害による損失	1	23
その他	2	0
特別損失合計	41	28
税金等調整前四半期純利益	1,019	1,005
法人税等	232	△254
四半期純利益	787	1,260
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△59	△15
親会社株主に帰属する四半期純利益	846	1,276

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	787	1,260
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△273	758
為替換算調整勘定	19	△75
退職給付に係る調整額	23	33
持分法適用会社に対する持分相当額	24	△12
その他の包括利益合計	△205	703
四半期包括利益	581	1,964
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	631	2,036
非支配株主に係る四半期包括利益	△49	△71

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

重要な連結子会社以外の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	特装車事業	環境事業	不動産賃貸等 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	21,879	2,186	1,470	25,536	—	25,536
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	3	0	132	136	△136	—
計	21,882	2,186	1,603	25,673	△136	25,536
セグメント利益	730	133	278	1,142	△196	946

(注) 1 セグメント利益の調整額△196百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△198百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	特装車事業	環境事業	不動産賃貸等 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	20,837	1,895	1,372	24,104	—	24,104
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	1	—	124	125	△125	—
計	20,838	1,895	1,496	24,230	△125	24,104
セグメント利益	995	232	119	1,347	△281	1,065

(注) 1 セグメント利益の調整額△281百万円には、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△284百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。